

## 5年生の担任の先生方へ

この「社会科ワークの進め方」などはもし社会科ワークを課題に出す場合、がんばろうと思っている児童が「何を、どうすればよいか分からない」「分からないからあとで解答を写して終わる」という状況にならないための1つの手立てとして作成しました。活用できそうでしたらご自由にご活用ください。

### (注意)

ワークにはグラフの読み取りなど、児童がつまづきそうな問題があります。この手引きでスラスラワークが解けるようになり、劇的に意欲向上することはありえません。

「無いよりは…」というものです。なので、実態の応じた手立ては必要です。

他教科も含め、何か良い課題物・手立て・学習手段があればぜひ教えてください。

↓以下は作成者の勝手な見方です(ご参考までに)↓

## 5年生の社会科ワークは

教科書だけでは進めることが難しいと考えられる部分が複数あります。

【例】世界の大陸・海洋 地球儀 日本の端(東西南北) 日本の気候や地形※  
暖かい地域や高地※ など

※の単元は教科書とワークがあまり適合していないため、自力で解けない児童が出る可能性大。

### 自分がもし5年生担任なら

①ワークP14～15 「寒い気候と北海道の観光」 ※暖かい地域(沖縄)と選択

②ワークP16～17 「低地の自然条件と佐原北部の農業」※高地(野辺山原)と選択

は課題に出すと思うので、例に挙げて進め方を作成しています。

よろしく願います。

藍住西小 山下



「社会科ワークを自分で進めるなんて…」と不安に思ったあなた！  
ワークは使う資料が見つければ自分でも進められるところがいっぱいです。  
コツをつかめばだいじょうぶ！進め方にあわせてまずやってみよう！

# 社会科ワークの進め方

## 1. 使う教科書のページや資料をさがそう

ワークの問題文を読んで、問題を考える手がかりになる  
教科書のページやワークの資料を見つけよう

【 例えばワークP14 の場合 】

- 1 はワークのグラフを使おう
- 2 は上に【P44～49】と書いてあるのでP44を使おう
- 3 は問題文に「教科書P46, 47を参考にして」と書いてあるのでP46・47を使おう

## 2. 資料を読み取り, 問題を考える

①ワークの資料の場合, 問題をよく読んでから  
資料をよく見て読み取ろう。

②教科書の場合, 本文や本文以外の部分  
(写真・図・説明など)を読んだり, 見たりしよう。

資料の読み取りが  
大切だね。  
考える手がかりは  
資料にあり!



さあこれでばっちり! ①②をいかしてワークの問題を考えてみよう!

【教科書はすみずみまで読もう】

ワークP14 の3(1) 北海道の主な  
農作物についての問題は教科書P46  
の本文以外のところに資料あり!

ほんとにあるかなあ…  
あ!こんなところに  
資料がある!





むずかしいと感じた問題は、別の日に考えてみるなど時間をかけてやってみてもいいですからね。もちろん他の物を使って調べたり、聞いたりしてもOKです。  
あせらず・あきらめずにやってみましょう。次はグラフの読み取りについてです。

# グラフの読み取り

☆教科書P22にもあります

【例えばワークP14のグラフ】

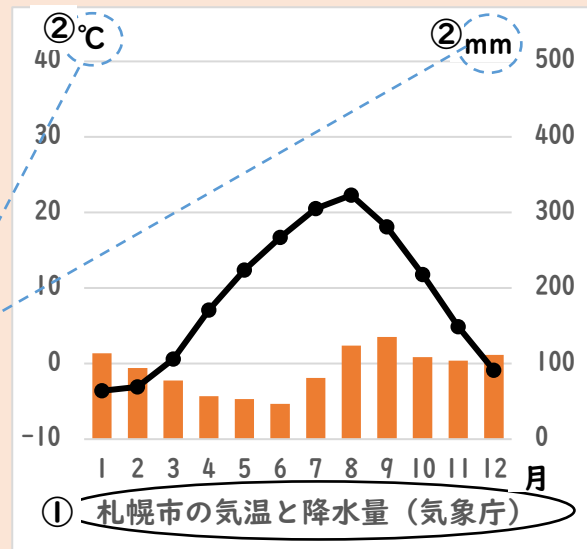
① タイトルを読み取る

② たての目盛りの意味を読み取る

左の単位は「℃」→ 気温

右の単位は「mm」→ 降水量

気候(天気)のグラフの数字は  
左が気温、右が降水量を表す  
ことがほとんどです。



③ 横の目盛りの意味を読み取る

単位は「月」→ 何月か

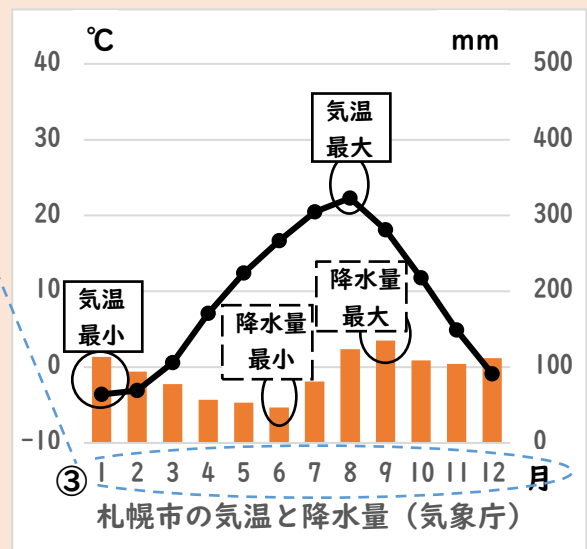
横の目盛りは時間の変化  
を表すことが多いですね。



④ グラフの最大・最小

全体の特ちょうなどを読み取る

★これが問題できかれていること



気候のグラフは  
折れ線グラフが気温(左の数字読む)  
棒グラフが降水量(右の数字読む)  
覚えておくと便利だよ!

## まとめ

- ①タイトル ②③目盛り(たて・横)
- ④最大・最小・全体と順番に  
ていねいに読み取れば大丈夫!